

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理事長が事業立ち上げに至った経緯を元に理念が作られている。		
2	2	認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用面接等の際に、事業所の理念を伝え、理解してもらえるように心掛けている。		ホールに分かりやすい言葉で理念が掲示されている。生活支援の中でその理念が伝わってくる。今後更に意識して理念に込められた意味をどのように日々の生活づくりの中で実践していくのか、管理者、職員が話し合う機会を作っていくことを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	年数回行われる大屋地域の行事に積極的に参加している。また、地域住民が日常的に事業所を来訪するなど、地域とのつきあいは十分に図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価に関する意義・目的を管理者をはじめ、十分理解をしている。評価結果に対する改善に関しても前向きにとらえ、出来ることから改善をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>市の高齢福祉課職員、自治会等が参加し定期的に運営推進会議が行われている。またその内容に関しても双方向的になっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議において検討された内容について、積極的に市に呼びかけを行ったり連携が図られている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月々の利用料請求書郵送時に、様子や現況を日々記載したお知らせを同封しこまめに報告を行っている。また、ブログを立ち上げ、家族以外にも事業所の様子についての情報発信を行っている。</p>		<p>非常に細かく利用者の様子について記載されており素晴らしい物となっている。ブログについては、地域住民についての告知等に力を入れていただきたい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>個々の家族との対話や連携があまりとれておらず、家族等からの意見や不満などを外部に対して反映する機会が少なくなっている。</p>		<p>機会あるごとに個々の利用者家族からの意見等聞くよう常に努められている。今後家族等からの要望・意見を引き出す工夫が望まれる。出された要望、意見等は職員又必要に応じて運営会議等に提出され、運営に反映させていくことを期待する。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>認知症の進行度合いが高い利用者が多いため、職員移動に対する影響については事例が今のところはない。しかし、職員の部屋担当を決めるなど、職員異動の際の影響があまり出ないための予防に心掛けている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>県の研修計画を元に様々なスタッフが研修に参加している。</p>		<p>今後、事業所のスタッフ育成に関する方針を基に、スタッフ個々の能力に沿った研修計画を立て参加をしていくことを検討していただきたい。又、受けた研修については職員全体で共有していく工夫も望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大屋地域3件のNPOが連携し、研修や催し物を企画し交流を図っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に利用者、家族と話し合いを行い、なじみながらの利用が開始できるよう心掛けられている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者を「人生の先輩」としての考え方を念頭に置いて接する事を心掛けている。その関わりの中から、支え合う関係性を築き上げている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一対一、向かい合いの話し合いの中で、利用者の意向の把握に努めている。しかし、一部の場合だけであり事業所全体で行うことが今後の課題である。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が総勢8名と小規模であるため、事業所内全体での把握と計画の作成が可能となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケース記録を1日1枚詳細に記載されており現状把握が出来ている。それに基づき、利用者の変化の都度介護計画の見直しが図られているが十分ではない。</p>		<p>本人、家族の希望、職員の意見を反映させた介護計画づくりに取り組んでいる。見直しも定期的の実施出来ている。利用者の変化に応じ、現状に即した計画作成が出来る体制づくりが今後望まれる。介護計画に関する見直しをする毎日の動きの中で工夫して位置づけられることを期待する。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の状況に応じて、通院介助・買物介助など、個々の満足を高められるよう柔軟に対応している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医となっており、利用者個人ごとのファイルを作成し、受診記録や投薬記録が管理されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する事業所の方針を明文化し、家族に説明を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティング等で職員のプライバシーに対する意識向上を高める活動を行っている。書面等では利用者をイニシャルに換え特定ができないようにするなどの配慮を行っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員同士の話し合いの中で、利用者個々のニーズの引出が出来てきている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけを利用者と共に行い、職員と利用者が同じテーブルで食事を楽しく行っている。事業所は、食を中心に考えており、献立や食材についても季節感、旬の物を取り入れ、利用者が満足できるよう工夫がなされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2～3回計画的に入浴していただいている。また、予定外の入浴希望があった場合でも対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	裁縫など、生活歴に基づいた利用者個々の得意分野を活かした役割を利用者をお願いしている。また職員は感謝の言葉を伝えるよう心掛けている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は極力外出し、利用者それぞれの希望に対応している。地域行事などの際は積極的に参加をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、玄関など日中鍵をかけることはされていない。玄関付近には、小窓がついており利用者が仮に出ていく場合等には気配が見落とされないよう配慮がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の協力体制は現在、運営推進会議に働きかけをしている最中である。消火栓の把握や独自訓練など、現在出来る範囲での対策は出来ている。		法人として防災計画を持ち、防災計画の具体化に向け運営推進会議の支援を受けながら職員の役割、地域への協力体制のあり方を協議していくことを期待する。日常的に地域の人々からの協力を得られる働きかけ、避難訓練等取組みまれていくことを望みます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	地産地消の安全な食材の確保、提供を徹底し季節感のある食事ができている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所内を改装し、共有空間を広く確保されていた。また、食事の時には食事作っている匂い等が感じられ、非常に家庭的な雰囲気がある。内装に関しては、季節感を意識した物が装飾されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたものや、好みのものを居室に持ってきていただくよう、働きかけを行っている。事業所内は施設臭などせず、心地よく過ごせる工夫がなされている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。